

夏期課題「オリジナル地図を作ろう」優秀作品発表

1学年の夏期課題「オリジナル地図を作ろう」について、非常に意欲的で素晴らしい作品が多かったこともあり、学年だよりの場を借りてそれらをいくつかご紹介していきます。優秀作品に選ばれた生徒は10/11（金）の学年集会にて、表彰などを行う予定です。掲載作品以外にも凝った作品が多く、いろんな作品を見ながら先生達も皆さんの力に圧倒されっぱなしでした。

飯島賞 A組

「葛西臨海公園野鳥マップ」



←街の史跡やコンビニ・標識の配置などテーマがなんとなく偏ってしまっている中で、「公園内の野鳥観察スポットの配置と工夫」という視点に驚かされました。テーマ選びのみならず内容も充実しており、手書きのマップもとても丁寧に再現されていました！

藤崎賞 B組

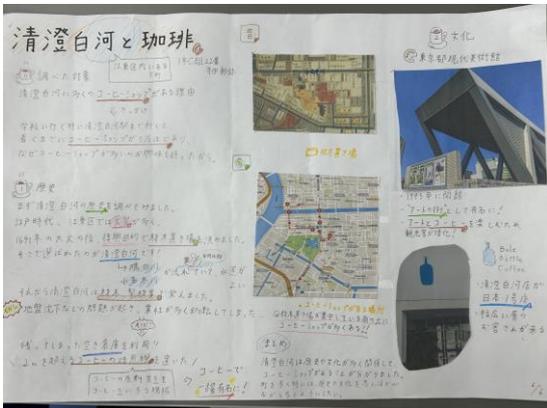
「墨田区南部の公共アート」



←「文化財」に着目した作品の中から選びました。「パブリック・アート」という、日常の中に溶け込んでいる芸術作品に焦点を当て、そのコンセプトを土地の特徴と関連付けてまとめている点がとてもよかったです。

鈴木賞 C組

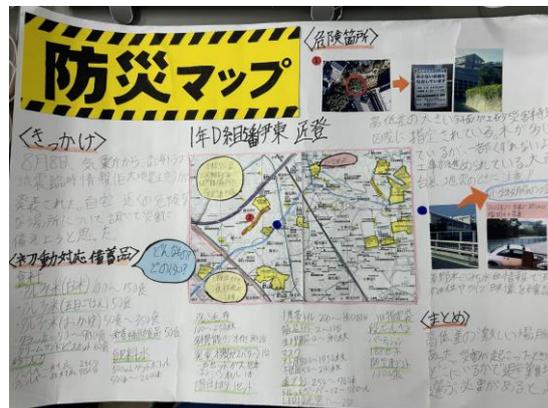
「清澄白河と珈琲」



←クラスの作品の中で唯一、昔の地図に着目して非常に興味深いと感じました。その地域の歴史を辿り、今と昔の地図を比較して疑問を探究したことは、地図探究としてもかなりレベルが高いと感じました。

藤井賞 D組

「防災マップ」



←良かったところは危険な場所の写真や過去の被害の様子の写真があり、危険度を認識しやすいところです。また、備蓄品(地区のものか?)の記載があり、このまま住んでいる地区の防災地図に使える実用性もあると思いました。

櫻井賞 A組

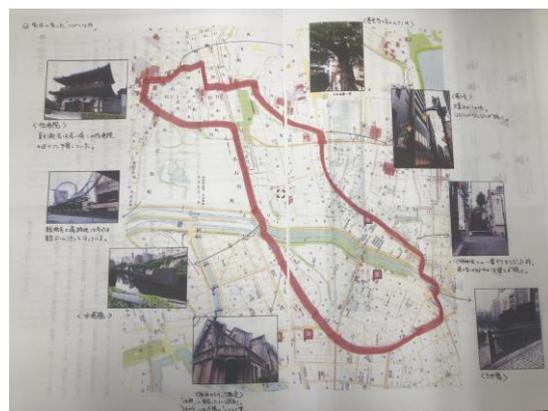
「菊川3丁目の自動販売機の水の値段」



←水の値段を調べるという題材が新鮮でした。インターネットや本だけを使うのではなく、自分の足で調べて作成しているところに熱意を感じました。結論までよくまとめられています。

↓番外編

「夏目漱石『こゝろ』に出てくる、「先生」の歩いた「いびつな円」のルート再現」



←2年前、夏目漱石の「こゝろ」という小説を教えるときに作った地図です。作中で登場人物が歩いた道のりを実際に歩いてみて、当時の地図に当てはめながら作りました。「坂道の傾斜と人物の心情とがリンクしている」という仮説があるようです。

杉田賞 F組

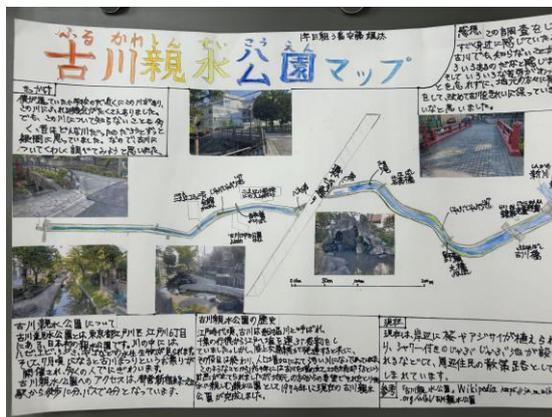
「電子マネーを使える自販機について」



←「電子マネーを使用できるか」という着眼点の面白さに加え、分析・考察の質の高さからこの作品を選びました。調査範囲が広く、調査数も多いことから、より説得力のある考察になっていると感じました。

貝森賞 E組

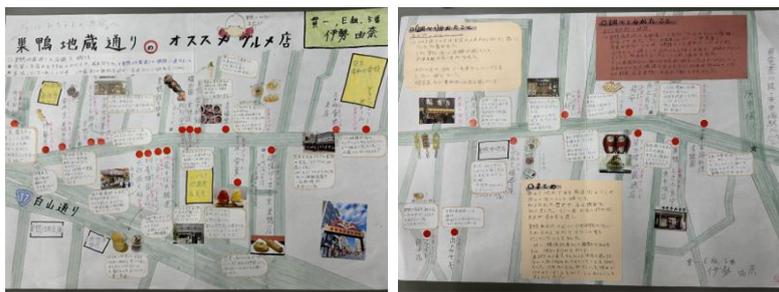
「古川親水公園マップ」



←身近な対象に対して素朴なきっかけから調査を始め、歴史的な視点も含めてまとめている点がよいと思いました！またスケールや参考文献の明記など、読み手への配慮がされている点も評価しました！

三原賞 E組

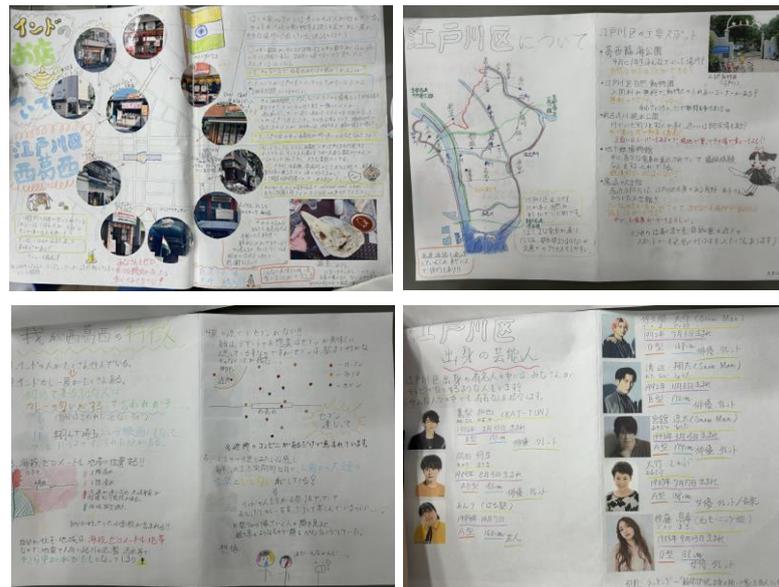
「巢鴨地蔵通りのオススメグルメ店」



↑とても見やすく写真だけでなく自分の絵も入っており、今すぐにも食べに行きたいと思いました。また、それぞれのお店の特徴を自分なりの言葉で表現しているところもよかったです。さらに、「調べて分かったこと」や「まとめ」も書かれていたのと、それがなるほどと思える内容だったこともポイントが高いです。

塩路賞 F組

「インドのお店について—江戸川区西葛西」



↑テーマ設定、調査量の多さ、熱意、工夫が見事！！見る者を魅了する圧力が素晴らしかったです。これは「作品」と言ってもよいかと思います。